



## Vol 177 資産運用の「継続は力なり」！？ コツコツ続ける積立投資の魅力

世界の株式市場は欧米の長期金利の上昇や金融引き締め、長期化観測に加え、中東情勢を巡る地政学リスクの高まりや原油価格の動向の不透明感などを背景に足元で不安定な動きが続いています。

日本の株式市場もこうした影響を受け、7月初旬におよそ33年ぶりの高値を更新した日経平均株価は9月中旬以降、軟調に推移しています。

株価が大きく変動した際には、お客様から「今から買っても大丈夫か？」あるいは「もう少し下がってから買った方がいいのか？」といったお問合せを頂くことがあります。

誰もが底値で買うことができればよいのですが、最良のタイミングで買うのは、たとえ資産運用のプロであっても至難の業です。

そこで、長期の資産形成の手法の1つとして、買いのタイミングを気にすることなく毎月一定額を積み立てる「積立投資」の魅力についてお伝えしたいと思います。

大切なことは「途中でやめないこと」と「覚悟をもって本気の積立を始めること」です。



期間：2023年1月4日～10月24日 ●信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。●上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

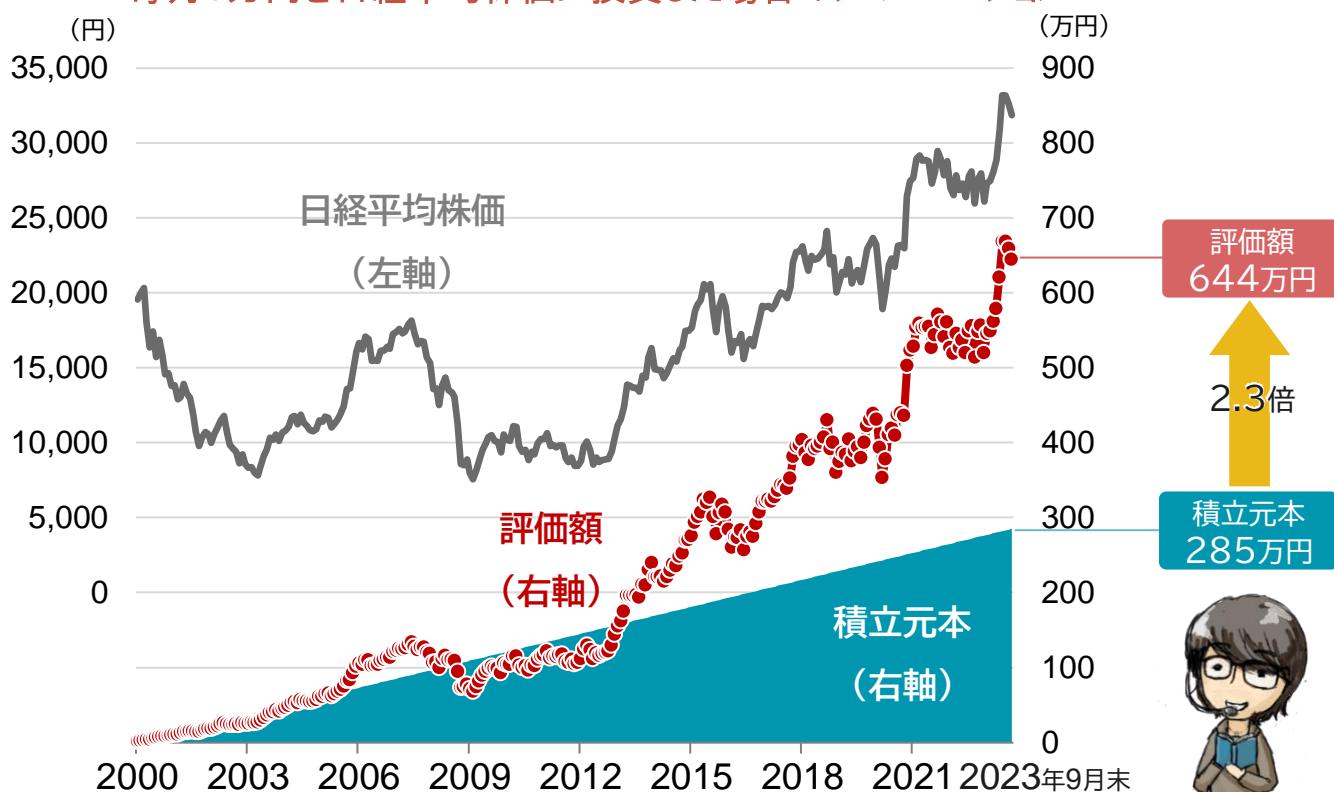


## 投信積立の秘訣は“途中でやめないこと”

下図はITバブル以降の2000年1月末から2023年9月末まで日経平均株価に毎月1万円を積立投資した場合のシミュレーションです。積立対象である日経平均株価はスタート時の約2万円から下落したのち、23年かけて、当初から約6割程度(約32,000円程度)上昇しました。しかし、この期間ずっと続けてきた投信積立の評価額はなんと126%のプラスでした。

「日経平均株価は6割程度しかあがってないのに、積立したものは2.3倍になっている。」これが投信積立の凄さです。今までの累計の積立元本285万円を、もしスタート時に一括で投入していたら、当然6割程度しか増えていません。しかし、285ヵ月買い続けてきた結果、評価額は126%も増加しています。その秘訣は下落した時に途中でやめなかったこと。それにより、安い値段で口数をしっかりと溜め込むことができ、溜め込んだ分が、その後の上昇時に大きく花開いているのです。

### 毎月1万円を日経平均株価に投資した場合のシミュレーション



期間：2000年1月末～2023年9月末 ●各月末の日経平均株価に定額積立をしたと仮定したシミュレーションです。税金・手数料等は考慮していません。●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。●積立投資により必ず利益があがることを保証するものではありません。●信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ●データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。

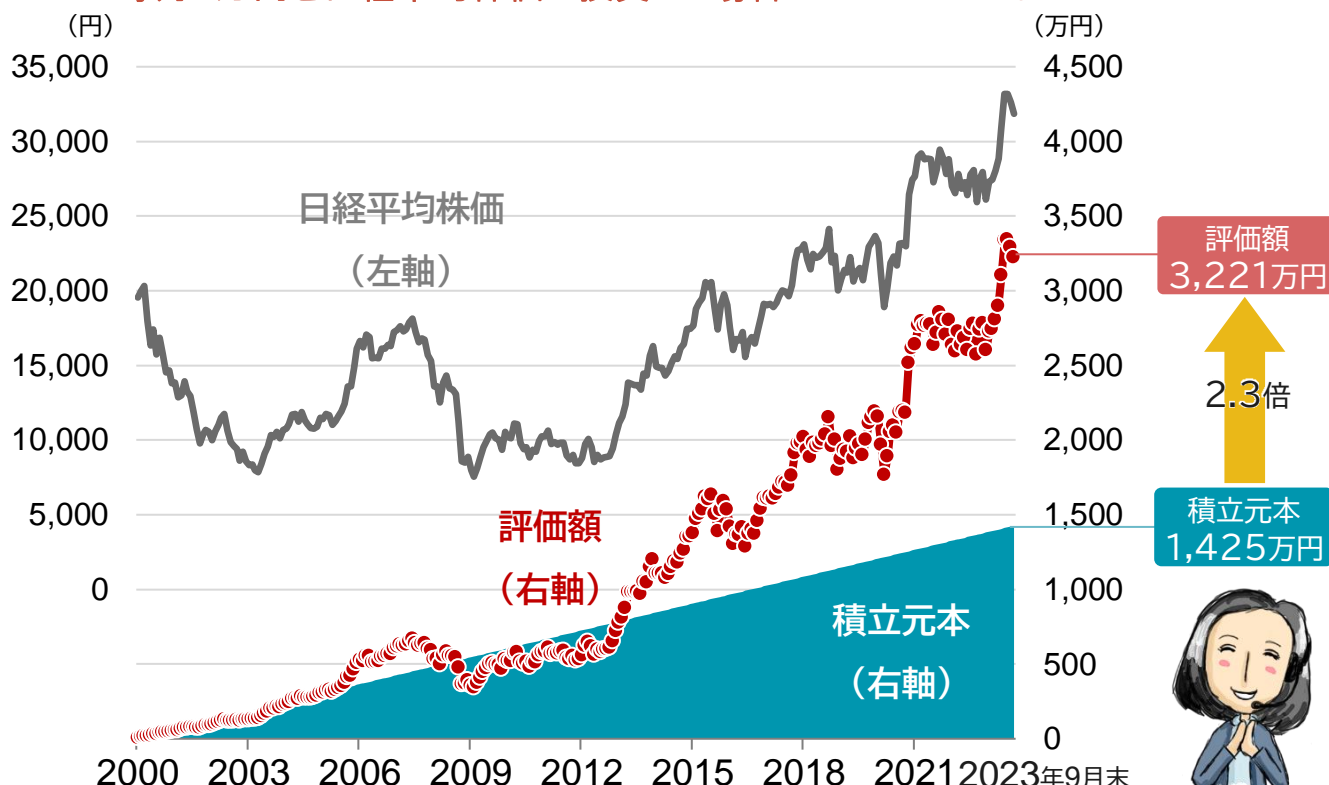
## 積立投資は“下がっても嬉しい仕組み”

投信積立は株式のような値動きの大きい資産を対象にするのに向いていると言えます。もちろん値動きが大きければ、どこかで一度は元本割れを経験することもあるでしょうし、ハラハラドキドキしたり、ストレスが溜まることもあるかもしれません。しかし、大切なことは「投信積立は下がっても嬉しい仕組みなんだ」、「上がるのは積立元本がしっかり溜まってからでいい」とばかり、悠々と続けることなのです。

## 始める時は“覚悟をもって本気の積立”で

投信積立で資産を増やすためには「積立金額を増やすこと」も大切です。積立金額を1万円ではなく5万円にしたのが下のグラフです。グラフの形は1万円で積立投資したものと同じになりますが、5万円の場合、積立元本は1万円の285万円に対し、1,425万円と大きくなります。そしてこの期間の評価額は3,221万円と3,000万円を超えるまでになりました。

### 毎月5万円を日経平均株価に投資した場合のシミュレーション



期間：2000年1月末～2023年9月末 ●各月末の日経平均株価に定額積立をしたと仮定したシミュレーションです。税金・手数料等は考慮していません。●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。●積立投資により必ず利益があがることを保証するものではありません。●信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ●データは過去のものであり、将来を約束するものではありません。

毎月5万円の積立を継続するのは簡単なことではないかもしれませんが、スタート時点で真剣に考えて自分にとっての「本気の積立」で金額を設定し、踏ん張って継続した結果、3,000万円を超えるほどの金額になれば、色々な選択肢が選べ取れます。

投信積立は少額から始めることができるので、「積立はとりあえず1万円から」とよく言われますが、日興アセットはとりあえずではなく真剣に考えて「本気の金額で」ということをお勧めします。

### One Point !



来年1月から新しいNISAが始まります。

「制度の恒久化」に加え、「非課税保有期間の無期限化」や「保有限度額の1,800万円への拡充」といった改良が予定されており、より長期的な目線で資産形成を行なうことが可能になります。

長期の資産形成の手段の1つとして、新しいNISAを上手に活用し、「本気の積立」を始めてみてはいかがでしょうか。



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

日興アセットマネジメント